

〈随時掲載〉

(みやざき)
ロングセラー
物語 MIYAZAKI
LONG SELLER STORY

21

ダンロップゴルフクラブ(都城市)が製造するゼクシオブランドのクラブは2000年に登場したロングセラー。中でも打ちやすさや爽快感、飛距離性能を備えるドライバーは人気が高い。

親会社の住友ゴム工業(神戸市)が企画開発。ダンロップゴルフクラブはカーボンシャフトを内製しクラブを組み立て出荷する。住友ゴム工業スポーツ事業本部の佐藤弘樹ゴルフクラブビジネスグループ課長によると、ブランド全体で年間約100万本超を販売。製造の大部分をダンロップゴルフクラブが担っている。多くのプロを支える。過

ゼクシオドライバー ダンロップゴルフクラブ(都城市)

機能的価値と上質感



右新モデルのゼクシオドライバーを検品するダンロップゴルフクラブの従業員＝都城市。左はゼクシオの歴代ドライバー(右列上から1～7代目、左列上から8～14代目＝住友ゴム工業提供)

進化続けプロ、アマ魅了

去には横峯さくら選手が賞金女王も使用。9月に初優勝した宮崎市出身の菅楓華選手(20)は、小学1年のクリスマスでサンタにおねだりしたのがゼクシオのクラブだったという。

絶対絶命の危機から生まれたブランドだ。住友ゴム工業はかつて海外メーカー「キャロウェイ」のクラブを代理販売していた。しかし「キャロウェイ」のクラブが「ゼクシオ」プロジェクトが誕生したクラブは爆発的にヒット。以後、モデル更新

のたび最新理論や技術、素材を惜しみなく投入し、「進化」の期待と「不変」の信頼に応えファンを広げる。22日には14代目が発売される。11代目から担当する佐藤課長は「ドライバーは新素材のVRチタンを採用し、一撃の飛びを実現させた、攻めた商品」とPRする。

特別注文によるカスタムクラブをはじめニーズは多様化しているが、「ひと」の手による精緻な生産とオートメーション化を両立し「迅速に、柔軟に対応できる」とダンロップゴルフクラブの横川誠士生産課長。不易と流行を体現するクラブが世界のゴルフアートを魅了し続ける。(湯田光)

メモ

工場では、松山英樹選手らPGAツアーで活躍するプロも使うスリクソン、ウェッジに定評があるクリーブランドのクラブも製造している。ゴルフクラブは種類が多く、長さやバランスが異なる典型的な多品種少ロット生産品。手作業の工程が多く経験豊富な従業員約180人が製造に携わる。